





桧原サナホーム

だより

第114号

社会福祉法人 仁愛会
 桧原サナホーム
 東京都西多摩郡桧原村
 3791-4
 TEL 042-598-1101
 発行人 施設長 齋藤 裕

「コロナを乗り越えて」

生活支援課 課長 吉田武志

人生をその人らしく、安心して有意義な生活を送れるか。これについて介護職はどうしたら相手に満足感を感じて頂き、生活を楽しんでもらえるかを考えます。

ご利用者様からのニーズは多岐に渡り、日頃の介助から始まり、嗜好品、外出、余暇活動など幅広く、私どもはご利用者様のニーズを的確に捉えられているか、本当喜んでもらえているのかと自問自答することが多くあります。

コロナ禍では思う様に余暇活動が出来ず、ご利用者様には窮屈な思いをさせてしまっていたと思っています。

施設内での行事・近辺の散歩、ドライブなど他とは接触しない形で実施しましたが、買い物に行きたい、昔行った〇〇へ行きたい、テレビで見た〇〇を食べに行きたいなどの希望を聞いた時には心苦しくもどかしい気持ちでいっぱい

でした。

5月に新型コロナウイルスが5類相当へ引き下げられ、今まで縮小していた行事やクラブなどコロナ前に戻す行事予定を組みました。

一大イベントである夏祭りも以前のようにご家族の方・地域の方をお招きして盛大に開催することができ、コロナ禍の時には無かったような、皆が笑顔で満ち溢れ生き生きしている姿がとても印象的で、この行事の開催はご利用者ニーズに答えられたと確信でき嬉しくなりました。

「ご利用者を大切に」

「安心して健やかな生活が送れるように

支援する」を motto トーにご利用者がサナホームでの生活に満足して頂けるよう努力していきます。



行事紹介



七夕 皆さんの願いを叶えてください。



夏祭り

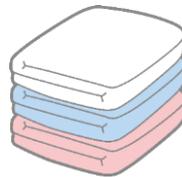


サナホームのお仕事ご紹介

今回はサナホームで働いている職員の業務についてご紹介します

◇洗濯業務◇

四名の洗濯専門のパート職員が交代で勤務しています。洗濯室にはご利用者職員の衣類から、タオル、シーツなど大物、大量のオシボリなど様々な洗濯物が集まってきます。それらを手際よく四台の大型洗濯機と大型乾燥機、三台の全自動洗濯機で仕上げていきます。洗濯機を回しながら、乾燥機から出したものをたたみ、所定の場所へ届けます。通常二名の職員で朝出したものはお昼前には仕上がりしています。デリケートな洋服は手洗いしたり、行事の後には百着の半纏を糊付けしたり忙しいながらも和気あいあいと楽しく仕事をしています。



フットケア



今回はフットマッサージ

を紹介します。施術して下さるのは笑顔の素敵な田邊さんです。

「ここの家の、まるで家のようにくつろぎスペースにご利用者をお連れし、そこでオイルとソルトの足浴。これだけで気持ち良すぎて寝てしまう人もいます。次に爪が変形している人はカット、むくみがひどい人はマッサージを中心になります。普段私たち介護士が、なかなか出来ない丁寧なケアです。フロアに戻って来たご利用者は本当にリラックスした表情で私たちも嬉しくなります。」

田邊さんは「清潔、乾燥、保湿」がモットーだそうです。ご利用者の気持ちよさは勿論靴下をはかせる時引っかからないようになど、「スタッフにも協力したい。介護しやすいように心をかけています」と。なんと心温まる言葉でしょうか。私たち介護士は皆さんの支えがあつ



て成り立つものなのでと再認識しています。



新入職員紹介

看護師

川村綾哉



看護師

尾又千恵子



皆さまよろしくお願いたします

松原サナホーム職員募集のお知らせ

現在、松原サナホームでは、介護職や運転関係の業務、お掃除・洗濯、他周辺

業務などで働いて頂ける方を募集しております。あなたの特技やお時間に合わせ、お願したいお仕事があるかもしれません。すぐに採用できない場合もございますが、「一度話が聞きたい」「応募はまだ迷っているが、興味はある」という方でも大歓迎です。我こそは！と思う方のご連絡をお待ちしております。また、知人の方で良い方がいれば、ご紹介頂ければ幸いです。

「やさしく、あたたかく」入居者が寂しい思いをしないように、楽しい生活を送れるように、一緒に協力頂ける方を待ちしております。勤務条件や待遇等詳細については、直接お問合せ下さい。連絡先電話番号

042-598-1101

担当 齋藤・松本・塩澤

